

2023 年上半期の米国 VC 投資動向

NVCA の Venture Monitor (Q2 2023) に基づき、米国 2023 年上半期 (1~6 月) の投資動向を概観する。

2023 年上半期の米国 VC 業界は、2022 年・2021 年との対比で、VC 投資・ファンド組成・エグジット、すべての項目できわめて低調であった。そうしたなかで、ドライパウダーのみが既往ピークを更新している。

1. VC 投資

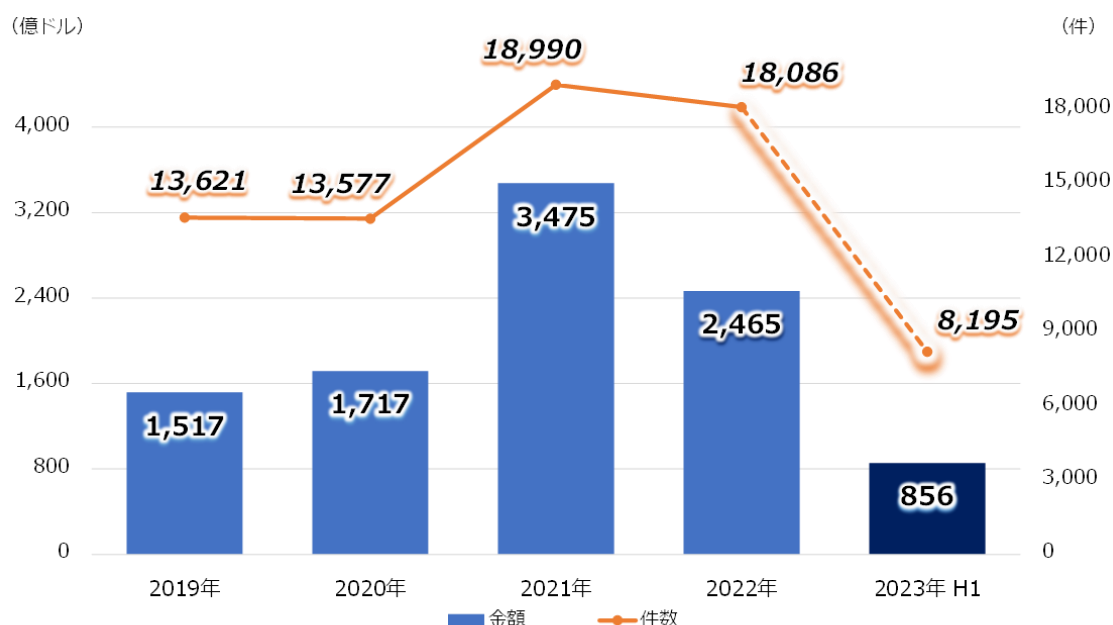
(1) 投資金額・投資件数：2021 年・2022 年との対比で低調

2023 年上半期の米国の VC 投資は 8,195 件で 856 億ドルと、2021 年・2022 年と対比すると、大きく減少した。

投資金額についてみると、2023 年上半期 (6 か月間) の 856 億ドルは、2022 年通年実績 2,465 億ドルの 1/3、2021 年通年実績 3,475 億ドルの 1/4 にしか達していない。

投資件数についても、2023 年上半期は 8,195 件で、2022 年通年実績の 18,086 件、2021 年通年実績の 18,990 件との対比で、40%台にとどまっている。(図表 1)。

図表 1 VC 投資の推移 (金額・件数)



(出所：NVCA, Venture Monitor Q2 2023、VEC作成)

(2) ステージ別投資金額：すべてのステージで、2021年・2022年対比、減少

2023年上半期の米国 VC 投資金額をステージ別にみると、「エンジェル/シード」「アーリー」「レイター」「ベンチャー・グロース^(注1)」のすべてのステージで、2021年・2022年対比、いずれも減少傾向にある（図表 2）。

(注1) NVCA は、半年前の Venture Monitor (Q4 2022) から、従来の3分類のステージ（「エンジェル/シード」「アーリー」「レイター」）に、「ベンチャー・グロース（シリーズ E 以降のスタートアップ）」を新たなステージとして追加している。

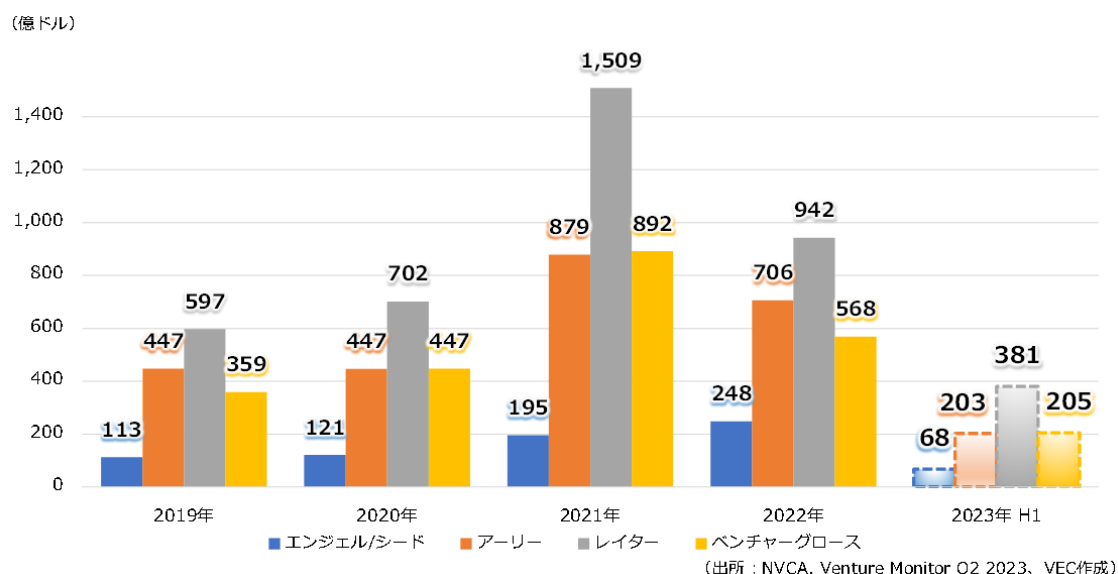
特に「アーリー」の2023年上半期（6か月間）の投資金額203億ドルは、2022年通年（706億ドル）の28.7%、2021年通年（879億ドル）の23.1%と、きわめて低調である。

「エンジェル/シード」についても、2023年上半期の投資金額68億ドルは、2022年通年（248億ドル）の27.4%、2021年通年（195億ドル）の34.9%と、「アーリー」同様に低調な推移である。

また、「ベンチャー・グロース」の2023年上半期の投資金額205億ドルは、2022年通年（568億ドル）の36.1%、2021年通年（892億ドル）の23.0%と、こちらも低調であった。

こうしたなかで、「レイター」の2023年上半期の投資金額381億ドルは、2022年通年（942億ドル）との対比で、40.4%となっている。前年対比で、40%台の水準に達しているのは、「レイター」のみである。

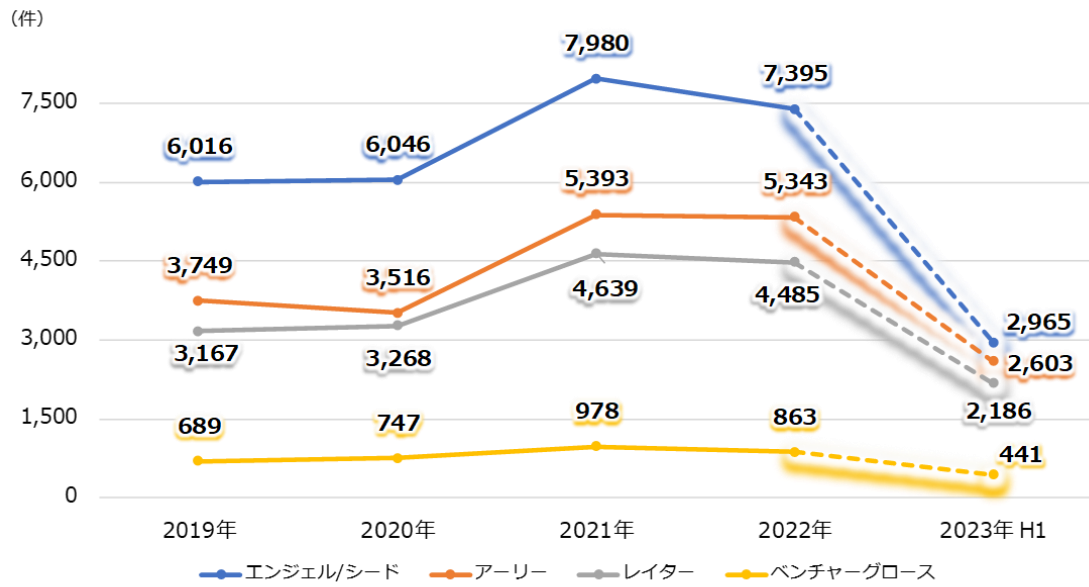
図表 2 ステージ別投資金額の推移



一方、ステージ別投資件数をみると、「エンジェル/シード」「アーリー」「レイター」「ベンチャー・グロース」のすべてのステージで、2023年上半期（6か月間）は、2022年通年実績の40%以上を記録している（図表 3）。

なかでも「ベンチャー・グロース」については、2023年上半期の投資件数は441件を記録し、2022年通年（863件）の51.1%と、唯一、50%のラップを維持している。ただし、Venture Monitorでは、これは新規のグロース投資によるものというよりは、レスキュー・ファンディング（救済目的の増資）の可能性が高いとみている。

図表 3 ステージ別投資件数の推移



(出所：NVCA, Venture Monitor Q2 2023、VEC作成)

2. VCファンド組成：組成額・本数ともに直近5年間できわめて低調

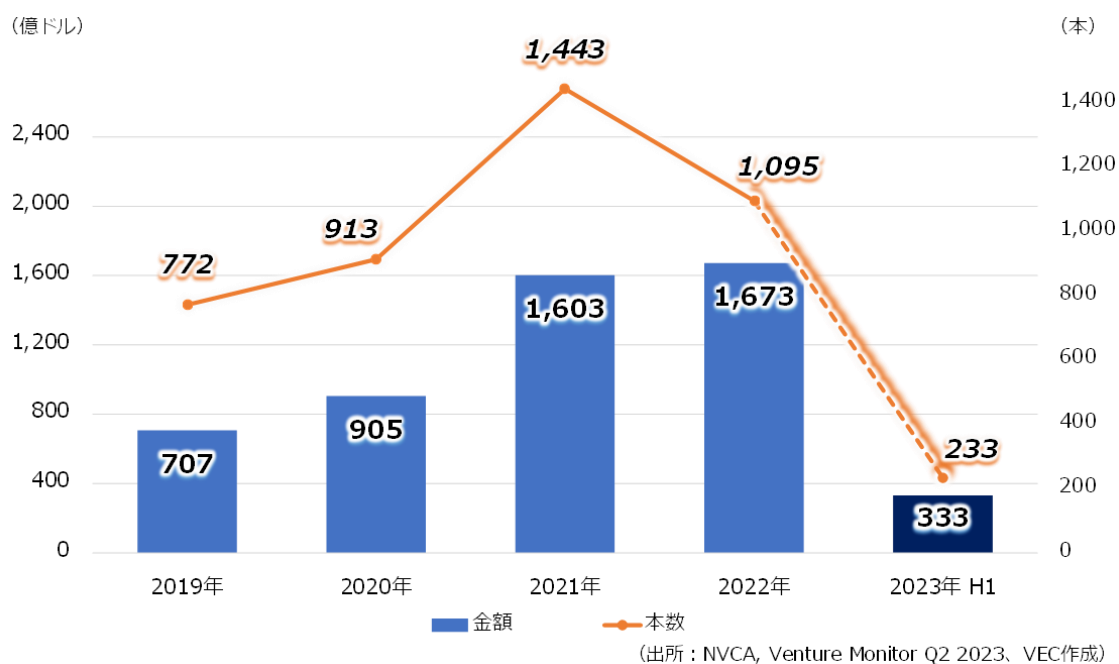
2023年上半期（6か月間）のファンド組成は233本で333億ドルと、本数・組成額ともに、きわめて低調であった（図表4）。

2023年上半期のファンド組成額333億ドルは、2022年通年（1,673億ドル）の19.9%、2021年通年（1,603億ドル）の20.8%にすぎず、さらにブーム前の2020年通年（905億ドル）に対しても36.8%にとどまっている。

同様に、2023年上半期のファンド組成本数の233本は、直近5年間でみると、2022年通年（1,095本）の21.3%、2021年通年（1,443本）の16.1%、2020年通年（913本）の25.5%、2019年通年（772本）の30.2%と、ラップの50%を大きく下回っている。

一方、Venture Monitorでは、米国VCが有するドライパウダーは2022年末現在で2,798億ドルの高水準にあり、2021年末時点の2,203億ドルを凌駕して、既往ピークを更新し、2023年末までこの高水準が続くものとみている。

図表4 VCファンド組成の推移（金額・本数）



3. Exit : 2021年のブームから急落した2022年対比でも、さらに大きな落込み

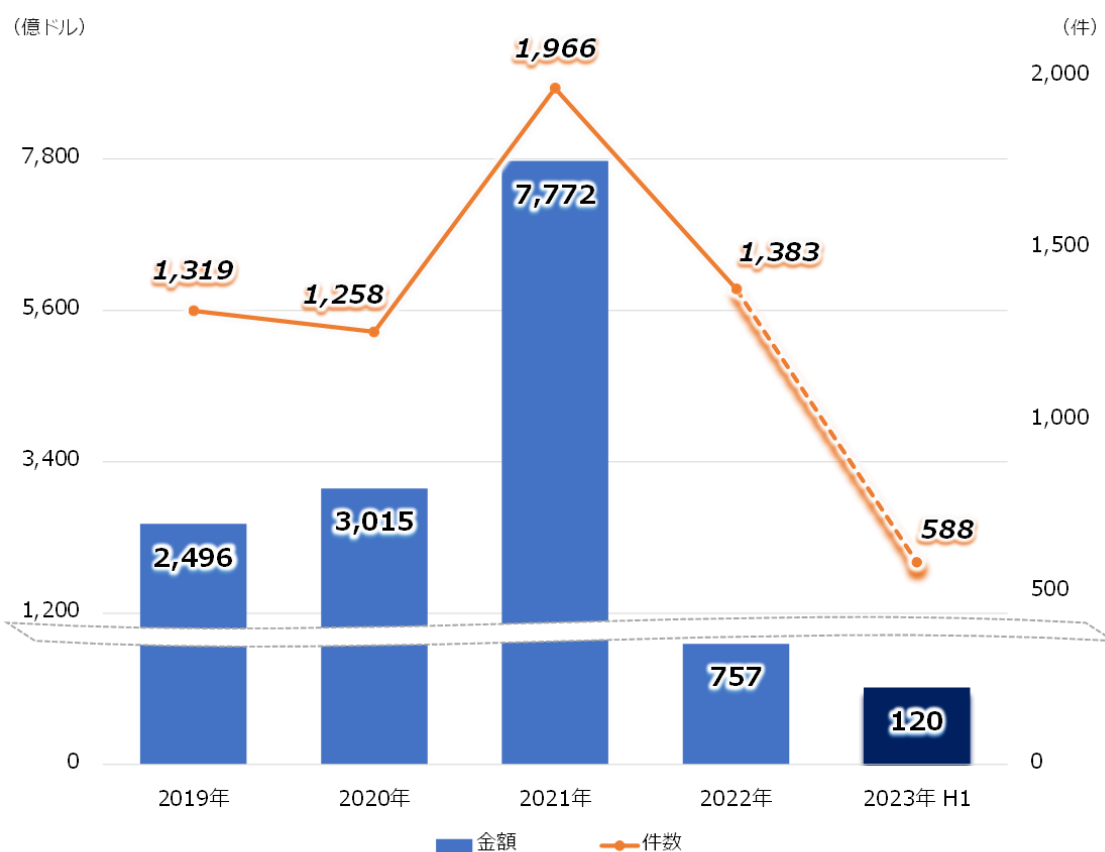
2023 上半期（6 か月間）の VC 出資先企業の Exit 価額^(注2) は 120 億ドルと、既往ピークを記録した 2021 年通年（7,772 億ドル）のわずか 1.5%にとどまっており、2021 年のブームから急落した 2022 年通年（757 億ドル）との比較でも、15.8%の水準にしか達していない（図表 5）。

2023 年通年では、過去 10 年間で最低となる可能性が高いと、Venture Monitor ではみている。

一方、Exit 件数の 588 件は、前年実績（1,383 件）に対し 42.5%を確保しているが、これは逆にいえば、1 件当たりの Exit 金額が大きく減少して小型化していることに他ならない。

(注2) Exit 価額は、VC 出資先の Exit 案件について、①株式公開（IPO、直接上場、SPAC 経由のリバースマージャーを含む）時のプレマネーバリュエーション額（株式公開前の段階での企業価値）、及び②買収金額が開示された M&A 金額の合計

図表 5 Exit の推移



(出所：NVCA, Venture Monitor Q2 2023、VEC作成)

以 上